

3日目 7月15日

会 場： 県立浜山球場

第3試合	～2回戦～ (6回コールド)																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
松江東	0	0	0	0	0	0										0	2	3		
大 東	0	0	2	1	6	2x										11	13	0		
(投手-捕手)																				
・ (松)	渡野 一 鍛治																			
・ (大)	稲田大 一 稲田遥																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (松)																				
・ (大)	稲田遥2、神庭、林海、足立												林、藤原2							
(審判) [球審]	波多			〔一塁〕 佐々井				〔二塁〕 大谷				〔三塁〕 住田								
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(松)	20	2	0	0	0	0	6	0	0	0	2	0			3	0	0	0		0
(大)	31	13	9	5	0	3	3	2	3	2	5	0			0	0	0	0		0

「大東、4番藤原の2打席連発で3回戦へ！」

大会3日目浜山会場の第3試合には第3シードの大東が登場した。試合は終始大東が圧倒する展開となった。大東は3回裏、安打と犠打で1死2塁とすると1番稲田遥がレフトへの適時打を放ち先制すると、犠打で2死3塁とし3番神庭のライト前へ落ちる適時打で1点を追加する。

中盤は大東打線が爆発した。4回裏、先頭の5番林海がレフトポール際に本塁打を叩き込む。5回裏には2塁打と犠打で1死3塁とし3番神庭のライト越えの適時2塁打を皮切りに4番藤原のレフトへの本塁打含む4連続長打に相手のミスも重なり、この回一挙6得点の猛攻で一気にリードを広げた。対する松江東は、大東先発の稲田大のキレのある球に計2安打と苦戦した。最後は大東が6回裏に、無死1塁で4番藤原が2打席連続となるライトポール際への本塁打で2点を加え10点差以上をつけて6回コールドで3回戦に駒を進めた。

